

Contents

- 1・大学コンソーシアム
八王子での地域活動
- 2・高幡台団地
シェアハウス報告
- 3・学友会地域活動報告
- 4・お知らせ

はじめに

明星大学地域交流センター センター長 滝井寛

地域交流センター発足3年目を迎え、このたび、活動報告としてNewsletterを発刊することといたしました。

本学では、建学以来の地域に根差した教育方針に基づき、日野市および八王子市と包括連携協定を締結し、地域の抱える課題解決に向けた協働、生涯教育の促進、人的資源の提供などを進めております。このような地域連携を通じた活動は、双方向の協力体制が不可避であり、本学が受ける恩恵も計り知れないものがあります。当センターから地域交流活動状況の情報発信を積極的に行うことで、学内外の方々にご理解を深めていただき、より一層のご協力を頂ければ幸いです。

1 大学コンソーシアム八王子での地域活動

「大学コンソーシアム八王子」では、八王子地域の25の大学・短大・高専と市民・経済団体・企業・行政などが連携・協働し、魅力ある学園都市づくりをめざしています。



◆「第7回夏休み子どもいちょう塾」(7/22,23)

教育学部高橋和子教授とゼミ学生による「みんなが主役の英語絵本づくり」講座(2日間で4講座)を提供。参加した子どもたちは、楽しく絵本づくりに取り組みました。教育学部の学生達には、子どもたちと一緒に学びを体験する良い機会となりました。

◆八王子学園都市大学「いちょう塾」へ講座を提供(2017年度)

今年度は前期・後期合わせて12講座の提供です。11月以降開講の講座もごぞいます(下記表参照)。

興味をお持ちの方は「いちょう塾」までお問い合わせください。

番号	担当講師	後期講座名	副題	開講日	回数
9-36	金子祥之	『方丈記』と鴨長明	困難な時代をどう乗り越えるか	9/14~	5
10-8	鈴木時男 渡辺知明	朗読による文学作品の楽しみ	「読む力」と「話す力」を高める	10/5~	10
11-2	岡田恒雄	宗教改革からプロイセン台頭までのドイツの歴史	宗教改革・30年戦争・プロイセン・オーストリア	11/11~	4
1-2	齋藤晴恵	はじめての絵本講座	シニアのための読み聞かせボランティア入門	1/12~	5
1-3	齋藤晴恵	シニアのための図書館活用術	調べるためのツールを使った自分史・冊子の作り方	1/12~	5
2-4	亀井延明 日高潤	3D-CAD	最新鋭3D-CADおよび3Dプリンタの紹介	2/14~	2

2017年4月より、明星大学×日野市×UR都市機構による、「地域活性化への取り組み」として、地域活動を条件に、学生が高幡台団地内にシェアハウス入居するというプロジェクトが始まっています。



高幡台団地

◆「高幡台団地防災の集い 明星大学熊本ゼミと共催！！」体験(6/24)

身近なもので作った防災グッズの紹介や、消防士と学ぶ災害時の避難行動、アルファ米と豚汁でお昼ご飯を作るというプログラムで、自治会・熊本ゼミ・消防庁の合同イベントが開催。シェアハウスの学生は居住者として参加、体験しました。



◆「高幡台団地夏まつり」

参加(7/15~16)

土日の2日間開催されました。シェアハウスの学生たちは、「玉こんにゃく串」の販売や、駐車場誘導係などを通して、酷暑の中でしたが楽しく交流を図りました。

その他、大学からは、人文学部熊本ゼミによる出店や、星友祭実行委員会のテント貸出などが行われました。

◆「敬老の集い」(10/1)

自治会主催の「敬老の集い」が開催され、学生たちは記念品の袋詰め・松花堂弁当を詰める作業・会場の後片付けなどで1日お手伝いをしました。楽器の出来る学生が、ギターを弾き語りを披露し、参加者全員で「赤とんぼ」を歌ったり、一緒にお昼をいただくなど、楽しく交流できる時間を過ごしました。



「高幡台団地シェアハウス」は、今年度からの試みです。

学生も団地の方々も日々試行錯誤の状況ですが、一緒に「居住者として行える等身大の地域協力は何か？」を考えながら、少しずつ団地内で和が広がっていくような活動・交流を目指しています。

地域交流センターでは、シェアハウスの学生たち、団地の自治会と情報交換をしながら、日々の暮らしの中で協力できることを増やしていき、長期的なプロジェクトとして「団地に根付く」ことを目標に活動をしていきます。

3 学友会地域活動報告

学友会（部活動）では、ボランティア・イベント協力のほか、地域清掃や児童館・子ども会協力など多方面で活動を行っています。その中からいくつかの事例を紹介します。



発足は被災地出身学生たちの「被災経験を伝えたい」という思いから。「震災から学び生かす」をテーマに、防災・減災に取り組んでいるサークルです。被災地スタディーツアー（福島県いわき市など）や地域の学校への防災教育ボランティア等を継続的に行っています。今回は、**Fineのメンバー吉井さん（教育学部3年生）にインタビュー**、その活動と想いを語ってもらいました。

Pick up：ボランティアサークル「減災プロジェクト Fine」

——吉井さんのサークルでの立場は？

企画長や連絡係をしていました。今は役職を離れ、後輩に活動を引き継いだり、新しい企画を考えたりしています。

——サークルに入ったきっかけは？

2011年3月11日東日本大地震が発生した日は中学校の卒業パーティーの最中でした。揺れも津波もなく、ほとんど被害はありませんでしたが、テレビで流れる被災地の映像に恐怖を感じたのは、忘れもしません。同時に被災地支援をしたいと強く思いました。大学入学後、Fine 被災地スタディーツアーに参加、そのままサークルに所属しました。

——活動の中で心に残っていることは？

被災地スタディーツアーと、都立南平高校での HUG(災害が起きたと仮定し避難所を運営するゲーム)です。

ツアーでは、実際に被災地を見て、聞いて、感じることで、現地に必要なこと、今後自分達のすべきことを考えさせられました。ツアーには毎年 20 名弱の学生が参加、「また参加して継続的な支援をしたい」「自分が見聞きしたことを家族や友達に伝えたい」といったうれしい感想を聞くことができます。

高校での HUG では、高校生たちがゲームを通して、防災に興味を持ってくれたのが印象的でした。

また、私の活動記録を Facebook で見た恩師からの依頼で、母校で防災講話をする機会がありました。Fine の活動で学んだことを地元の後輩達に伝えられたことは本当にいい経験となりました。

——活動を通し学んだこと、活かしていること。

被災地の現状を知り、地元の方々からお話を伺い、命を守る為の備えについて学びました。

防災グッズや食料品といった備蓄品があることは、生きる希望につながったとおっしゃる方も多くありました。災害時において、自分や自分の家族の命を救うために、まずは正しく備蓄品（3日分の水と食料・居場所を知らせる笛やブザーなど）をそろえることが大切だと思います。

また、外出中に災害に遭った際、公園などの施設がない場合にスーパーや大型施設に逃げ込む人もありますが、物が多く、火災の可能性もあります。意外と安全なのがガソリンスタンド。阪神淡路大震災でも、ガソリンスタンドに逃

【被災地スタディーツアー】



福島県いわき市薄磯地区。津波で甚大な被害を受けた場所が徐々に舗装されて、移り変わりゆく現状を、薄磯地区の区長さんから説明を受ける。

原発被害から食の風評被害を受けて、食から衣への転換活動を行っている方のお話を伺う。場所はオーガニックコットン畑。



げた人が火災から免れたという記録があることなどを知りました。それから、災害伝言ダイヤル 171（いない）。自分の無事を知らせる手段、また家族や友人の無事を確認する手段として知っておくとよいと思います。今お話したような、Fine で実際に見聞きして学んだことを今後に生かし伝えることで、自分の周りの人たちも意識が変わっていくのを感じています。

——この場を使って伝えたいこと

正しい防災知識をつけるために、学校での防災教育や地域の防災訓練など活動の向上を強く望みます。

東日本大地震から 6 年、少しずつ被災地の復興は進んでいますが、一方で自分の周囲で防災意識が薄れているなど、意識の差を強く感じる場合があります。

熊本地震のように、今はどこで地震が起きてもおかしくありません。今一度、1人ひとりが防災について考え「忘災から防災」へと意識を変えていくべきだと思います。そのためにも大学と地域が様々な活動を通して交流し、災害時には助け合いができるようになればいいと思っています。

（インタビュー・地域交流センター勤労生 武井）

「減災プロジェクト Fine」連絡先

Facebook @finegensai Gmail fine.gensai@gmail.com

Twitter @fine_gensai

活動は水・金曜の昼休み、月曜の放課後（不定期）

◆ひのよさこい祭（日野市）支援スタッフとして学生が参加（7/30）

JR 豊田駅周辺で行われる「ひのよさこい祭」の会場アナウンスを明星大学の学生が担当しました。今年は放送研究部と硬式野球部から2名ずつ計4名が参加。2会場でのアナウンスを行い、よさこい踊りを盛り上げました。



◆東京都立多摩桜の丘学園

「桜の丘夏まつり」参加(7/22)



桜の丘学園の夏祭りに、チアリーディング Miracle☆Stars が出演。当日は、約5分間の演技で、会場を大いに沸かすパフォーマンスを披露しました。

◆「第41回落合ふるさと夏祭り」

落合四睦会（多摩市）参加(7/22)

体育会硬式野球部は、毎年落合自治会の要請を受け、御輿担ぎを担当しています。今年度も地域の方々と協力して商店街を練り歩き、お祭りを通して、交流を深めました。



4 お知らせ

◆読売新聞連続市民講座「多摩に学び、生きる」

2017年4月より、明星大学×読売新聞立川支局共催連続市民講座「多摩に学び、生きる」を全10回にて開講中。多摩地域を多角的な視点で解説する講座で、毎回多くの皆様が受講されています。

参加申込は不要、参加費無料、どなたでもご参加頂けます。お気軽にお越しください。



◆明星大×実践女子大×日野市スタンプラリー開催

11/3~5 明星大学学園祭「星友祭」

(場所 28号館-308/スタンプは4日のみ)

11/11,12 実践女子大学「常盤祭」「日野市産業まつり」

(同日開催/スタンプは11日のみ)

3イベントをめぐるスタンプラリーです。スタンプ1つで参加賞、2つ以上で記念品をプレゼントします。

今後の予定

- 11/3~5 明星大学学園祭「星友祭」
- 11/03 心理相談センター公開講座
「はじめてのマインドフルネス」
- 11/11,12 実践女子大学常盤祭（スタンプラリー）
- 11/11,12 日野市産業まつり（スタンプラリー）
- 11/11 【全学共通教育委員会】公開講座
『ヤルタ会談』青年団演劇公演
- 11/18 【デザイン学部】地域連携・貢献事業
「デザインセッション多摩2017」
- 11/25 【全学共通教育委員会】公開講座
「ドイツ演劇におけるジャポニズム」
- 11/25 読売新聞連続市民講座
「紙芝居や教科書などからひもとく教育史」
- 12/09 読売新聞連続市民講座
「多摩地域の食材や地形の恵み」
- 12/25 明星大学吹奏楽団第49回定期演奏会
(オリンパスホール)

発行：明星大学事務局 地域交流センター
住所：191-8506
東京都日野市程久保 2-1-1

電話：042-591-5111（内7160）
042-591-9445（直通）

Email: gad-tkc@ml.meisei-u.ac.jp



Facebookにて
情報発信中

